

SORA
TOURISM



今日は、
宇宙へいく。

10年後、100年後、

人類は地球を中心に、月や火星との間を、
今から想像できないくらい自由に行き来していると思われる。
でもそれはきっと、地球を中心に考えた地球人としての考え方。

仮に、10年後、100年後、

人類が、地球人の枠を超え、
月や火星も中心に考えながら、地球との間を行き来をするという、
宇宙人としての考え方も持つことができたなら、
我々はきっと今よりもっと多くの課題を解決し、
より快適で幸せに暮らせるはずだ。

自然の究極系である宇宙をみんなが深く知ることで、
子どもの発想は大きくなり、大人の判断はより賢明になる。

100年後の人類の未来のために、

我々はまず、地球で体験できる、宇宙へ行く。

楽しもう!

見上げる空から、
行って見る宙まで

宙ツーリズム推進協議会の活動目的

宙観光に関するターゲット層の調査結果の共有

ウェブなどによるターゲット層への情報発信機会の提供

無料で参加できる宙観光に関するシンポジウムやイベントの開催

専門家とのネットワーキングによるコンサル機会の提供

協議会会員 (自治体・団体)



鳥取県



大野市



長野県



秋田

((一社)あきた宇宙コンソーシアム)



井原市



南牧村



南阿蘇村



八ヶ岳

(スターラウンド八ヶ岳)



福岡

(福岡市科学館)



三鷹

(合同会社 科学成果普及機構)

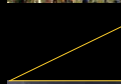


鹿児島

(株式会社宙の駅)



いすみ市



石垣市



京都

(花山天文台の将来を考える会)



和歌山市加太

協議会会員 (順不同)

(一社)宇宙カルチャー推進協会、認定NPO法人花山星空ネットワーク、京都花山天文台の将来を考える会、(一財)日本宇宙フォーラム、日本公開天文台協会、星空公園、和歌山大学観光学部科学文化ゼミ、(株)アストローツ、ANA セールス(株)、(株)オスカーププロモーション、(株)クラブツーリズム・スペースツアーズ、(株)電通 宇宙ラボ、(株)日本旅行、(株)パソナグループ、(株)ピクセン、特定非営利活動法人ギガスター、(株)日本能率協会総合研究所、福井工業大学、NPO 法人日本宇宙旅行協会

2018年11月21日現在



宇宙

そら
宙

宙ツーリズム推進協議会 発起人から皆さまへ



秋山 演亮

和歌山大学 教授

究極的には「宇宙へ行く」ことを目指す宙ツーリズムですが、まずはその前段階としての様々な勉強旅行や体験学習も応援します。

すでに日本全国で高校生や大学生がチームとなり、遙か宇宙への夢を実現する為に、様々な取り組みを行っています。これらの共同実験や生徒/学生によるプロジェクトなども紹介し、皆さんにも参加・見学に行けるような情報発信をしていきます。



縣 秀彦

協議会代表 合同会社 科学成果普及機構

つらい時や悲しい時に夜空を見上げたいと思ったことはありますか? 星空を見て気持ちが救われたことが何度か私にはあります。その一方、家族や親しい仲間と一緒に満天の星空を見上げて、とても幸せな気持ちを味わったことも多々あります。一人で対峙して自分の過去や未来と語り合う時間も、多くの人たちと共感しあう瞬間も、満天の星空ほどかけがえのない存在はありません。日常を離れ、「宙ツーリズム」に参加して自分自身や他者と対話する素敵な「星空体験」の輪を拡げませんか?



山崎 直子

元 JAXA 宇宙飛行士

宙ツーリズム準備委員会では、各地域の『空』や『宇宙』に関する資源を有機的に結びつけていきたいと考えています。将来的には、宇宙旅行時代を見据え、地球と宇宙との文化的架け橋になることを期待しています。